

沼隈農園研修圃場のぶどうを出荷しています

【平成 30 年 8 月 28 日掲載】

福山市沼隈町でトンネル栽培ぶどうの出荷がはじまりました。ぶどう農家をめざす広島県果樹農業振興対策センター・沼隈農園の研修生 4 名も、自らが育てたぶどうを早朝から収穫し、大きさや重さ、形、そして着色を確認・選別して出荷用の箱に詰めています。

今年産のトンネル栽培ぶどうは 7 月初旬までは例年並みで生育していましたが、その後の高温によって生育が早まりました。また、晴天が続いたことから今年も大変甘いぶどうに仕上がりました。

研修 2 年目の村上知弘（むらかみ ともひろ）さんは、「今年も、房型のよいおいしいぶどうができた。」と話され、今年 12 月からの就農に向けて自信をつけている様子でした。

トンネル栽培の研修圃場は約 57 a（そのほか、無加温栽培 10 a）で、ベリー A、ピオーネ、藤稔、安芸クイーン、ゴルビー、瀬戸ジャイアンツなどの品種を栽培しており、9 月末まで約 8 トンを出荷する予定です。



【村上さん(左)ら研修生が協力して箱詰め】



【軽トラックへぶどうの積み込み】